

臨濟宗信徒日課

特115

803



始



43115
807

釋迦如來

二月十五日

達磨大師

梁大通二年十月五日

臨濟禪師

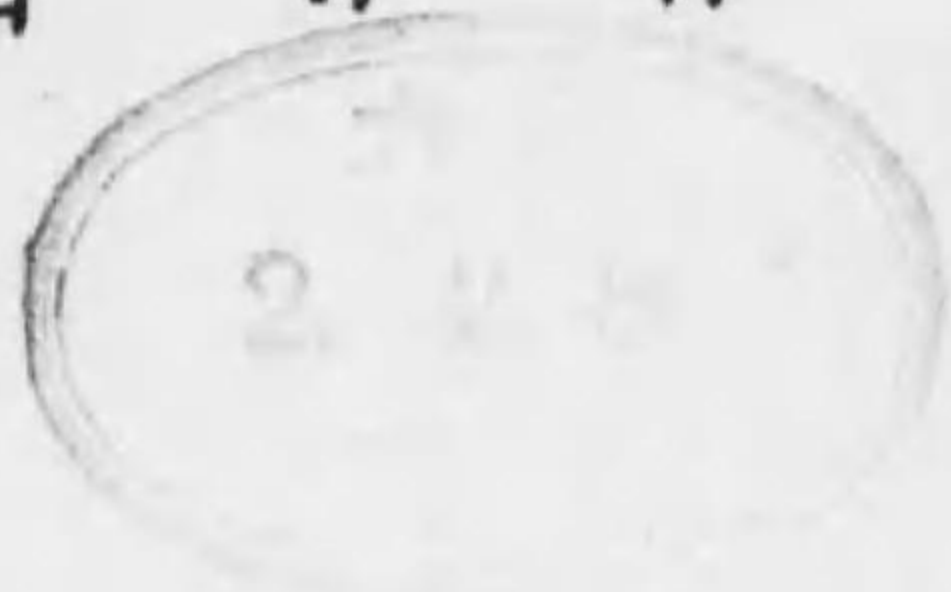
唐咸通八年正月十日

開山大師

延文五年十二月十二日

花園法皇

貞和四年十一月十一日





皇法園花 師大相無

我昔所造諸惡業

皆由無始貪瞋癡

從身口意之所生

一切我今皆懺悔

一心頂禮 大恩教主釋迦牟尼佛

一心頂禮 初祖菩提達磨圓覺大師大和尚

一心頂禮 宗祖臨濟惠照禪師大和尚

一心頂禮 本山開山無相大師大和尚

一心頂禮 花園太上法皇

一心頂禮 三國傳道歷代祖師大和尚

慚愧懺悔六根罪障

滅除煩惱滅除業障



摩訶般若波羅蜜多心經



觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五

蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不

異色色即是空空即是色受想行識亦復如

是舍利子。是諸法空相不生不滅不垢不淨

不增不減是故空中無色無受想行識無眼

耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至

無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死。

亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無
罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜
多是大神咒是大明咒是無上咒是無等等
咒能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜
多咒即說咒曰羯諦羯諦波羅羯諦波羅僧

羯諦菩提薩婆訶

般若心經

消災陀羅尼

曩莫三滿多母馱喃阿鉢羅底賀多舍娑曩

喃怛姪他唵佉佉佉唵佉唵入嚩羅入

嚩羅嚩羅入嚩羅嚩羅入嚩羅底瑟吒底瑟

吒瑟致哩瑟致哩娑發吒娑發吒扇底迦室

哩曳娑婆賀

大悲圓滿無碍神咒



南無喝囉怛那哆羅夜耶南無阿唎耶婆盧
羯帝爍鉢囉耶菩提薩跢婆耶摩訶薩跢婆
耶摩訶迦嚧尼迦耶唵薩皤囉罰曳數怛那
怛寫南無悉吉唵埵伊蒙阿唎耶婆盧吉帝
室佛囉楞駄婆南無那囉謹墀醯唎摩訶皤
哆沙咩薩婆阿他豆輸朋阿遊孕薩婆薩哆
那摩娑伽摩罰特豆怛姪他唵阿婆盧醯盧
迦帝迦羅帝夷醯唎摩訶菩提薩埵薩婆薩

婆摩囉摩囉摩醯摩醯喇駄孕俱盧俱盧羯
蒙度盧度盧罰闍耶帝摩訶罰闍耶帝陀羅
陀羅地喇尼室佛囉耶遮囉遮囉麼麼罰摩
囉穆帝隸伊醯移醯室那室那阿囉嚩佛囉
舍利罰沙罰嚩佛囉舍耶呼盧呼盧摩囉呼
盧呼盧醯喇娑囉娑囉悉喇悉喇蘇嚩蘇嚩
菩提夜菩提夜菩提夜彌帝喇夜那
羅謹墀地喇瑟尼那婆夜摩那娑婆訶悉陀

夜^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ摩^モ訶^コ悉^シ陀^ド夜^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ悉^シ陀^ド喻^ユ藝^ウ室^{キイシ}
皤^フ羅^ラ耶^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ那^ノ羅^ラ謹^{キン}墀^ジ娑^ソ婆^モ訶^コ摩^モ羅^ラ那^ノ羅^ラ
娑^ソ婆^モ訶^コ悉^シ羅^ラ僧^ス阿^オ穆^モ佉^{ギヤ}耶^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ娑^ソ婆^モ訶^コ娑^ソ婆^モ摩^モ訶^コ
悉^シ陀^ド夜^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ者^{シヤ}吉^キ囉^ラ阿^オ悉^シ陀^ド夜^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ波^ホ
哆^ド摩^モ羯^{ギヤ}悉^シ陀^ド夜^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ耶^ノ囉^ラ謹^{キン}墀^ジ皤^ハ伽^{ギヤ}囉^ラ耶^ヤ
娑^ソ婆^モ訶^コ摩^モ婆^ホ利^リ勝^{シン}羯^{ギヤ}羅^ラ耶^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ南^{ナム}無^ム喝^カ囉^ラ
怛^{タン}耶^ノ哆^ト囉^ラ夜^ヤ耶^ヤ南^{ナム}無^ム阿^オ唎^リ哪^ヤ婆^ボ盧^{リヨ}吉^キ帝^{チイ}爍^シ皤^フ
囉^ラ夜^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ悉^シ殿^{テン}都^ド漫^モ多^ド囉^ラ跋^ホ陀^ド耶^ヤ娑^ソ婆^モ訶^コ

大施餓鬼



若人欲了知三世一切佛應觀法界性一切

唯心造南無十方佛南無十方方法南無十方

僧南無本師釋迦牟尼佛南無大慈大悲救

苦觀世音菩薩南無啓教阿難尊者南無

薩婆兜哆伽多嚩盧枳帝唵三摩囉三摩囉

吽南無蘓嚩婆耶多吽伽多耶多姪吽唵

蘓嚩蘓嚩婆耶蘓嚩婆耶蘓嚩娑婆訶南

無三滿哆没駄南梵 南無寶勝如來南無

多寶如來南無妙色身如來南無廣博身如

來南無離怖畏如來南無甘露王如來南無

阿彌陀如來 南無阿彌陀婆耶哆吡伽多

耶哆臈耶哆阿彌唎都婆毘阿彌唎哆悉耽

婆毘阿彌唎哆毘伽蘭帝阿彌唎哆毘伽蘭

哆伽彌臈伽伽那枳哆伽唎娑婆訶 神咒

加持淨飲食普施阿沙衆鬼神願皆飽滿捨

慳心悉脫幽冥生善道歸依三寶發菩提究
竟得成無上覺功德無邊盡未來一切衆生
同法食 汝等鬼神咒我今施汝俱此食遍
十方一切鬼神俱 以此修行衆善根報答
父母劬勞德存者福樂壽無窮亡者離苦生
安養四恩三有諸含識三途八難苦衆生俱
蒙悔過洗痕疵盡出輪迴生淨土
願以此功德 普及於一切



我等與衆生

皆共成佛道

十方三世一切佛諸尊菩薩摩訶薩摩訶般

若波羅蜜

延命十句觀音經

觀世音南無佛與佛有因與佛有緣

佛法僧緣常樂我淨朝念觀世音

暮念觀世音念念從心起念念不離心返

發菩提心空拳章



若人三世一切の

佛を了知んと欲せば

法界性を觀ず應し

一切唯心造なりと

普く衆生を觀するに

各々佛性具しぬれば

一念不生に至る時

忽ち佛性現前し

男女上下の隔なく

其儘即ち佛なり

偶一念迷ひ初め

自凡夫となるゆゑに

三毒五慾の情起り

殺生偷盜邪淫欲

惡口兩舌綺語妄語

瞋り恚ち愚癡我慢

貪ひこぼり惜をりて嫉いみ妬ねたみ

憎どうあい愛しん執しん着しん譽ほめ誇こり

惡あく業ごふごい罪つを造つくりては

地ぢ獄くや傍ばうしやう生が餓ま鬼きとなり

千せうしやう生まん萬ごう劫ちん沈りん淪し

受うる苦く患げんぞ怖おそしき

夫それ人ほん間げんの身みを受うけ

此この世よに生うま

爪つめの上う端はに置おける土つち

三さん惡あく道だうに墮おち

苦く患げんに沈しんむ輩はいは

大だい地ちの土つちの

況まて尊たみき佛ぶつ法ほふの

教をに親したしく遇あ事ことは

百ひやく千せん劫がうにも有あり

斯かる時じ節せうを失うは

必出離と求むべし

春は萬の種を蒔き

衣服家宅に至るまで

今とも知れぬ後の世の

空しく過るぞ愚なり

無常の風に誘はれて

耳も聴はず目も見はず

聚り來りて責るゆる

人々賢き智慧あれば

秋の實登と待のみか

遠き覺悟のありながら

永き冥路を打忘れ

老若貴賤も諸共に

忽ち此世を終る時

一生作し置く罪過が

臨命終の苦しみは

百千萬の鋒に

突き惱さるるごとくなり

其時何を頼むべき

田畠數多有とて

冥途の用には立ぬもの

金銀財寶持つ人も

携へ行べき道ならず

妻子眷屬有しとて

伴ひ行事更になし

偕老比翼の契ひも

少時浮世の夢にして

出入の息の絶にぬれば

野邊の送を營みて

老も若も侘野の

空の煙と消に失て

朝夕撫し黒髪も

蓬よもぎが根もとの塵ちりとなる

壁かべも柱はしらも戸障とら子こも

始はじめて何いづれも後悔こうかいし

後生ごしやう菩提ぼだいも願ねがふべし

我身わがみに悪行あくぎやうするのみか

俱ともに造つくりし罪過つみとがの

已おのれと作つくりし地獄ぢごくゆる

此この悲かなしさを誰たれに告つげ

造まう悪人あくにんの最後さいごには

獄卒おにの姿すがたと見みにければ

斯かる憂目うさめの有あらば

悪あくき心こころも持もちずぐに

人ひとに膽性きよせいを傷いためさせ

我身わがみ一つに報むくひ來きて

免まぬがれ遁のがる方かたぞなき

又また誰たれをか恨うらむべき

思おもひ遣やるべし其時そのときの

因果いんぐわの道理だうりを辨わきまへて

後世ごせの大事だいじの覺悟かくごして

親おやに孝行かうかう君きみに忠ちゆう

親属しんぞく他人たにんも夫々それぞれに

無禮ぶれい不實ふじつの行なもさうに

人ひとの善よからぬ罪過つみとがと

人ひとをば罪つみに落おとすまじ

苦患くげんの程ほどは幾いばかり

惡あしき心こころを矯直ためなほし

善根ぜんこん功德くどくに心こころざし

兄弟きょうだい夫婦ふうふ睦もろもろとく

長幼ちやうじゆう尊卑そんひの義ぎを守まもり

己おのれを捨すてて人ひとを立たて

假令たとひ我身わがみに受うるとも

飢寒きかんに苦くるしむ者ものと見みば

身みの分ぶん限げんの及およぶほど

鳥類てうりるいぎよるい魚類ぎよるいに至いたる迄まぎ

尚たつとぶらくは人間にんげんの

佛ほとけの姿すがたにかはらねば

慈悲ひどんじ仁讓にじやうになりぬれば

此身このみが即すまはち佛ほとけにて

一ひと聲こゑ唱となふる稱名しょうみやうも

無始むし劫しきふ來らいの罪障ざいじやうも

施ほどこし惠めぐみを致いたしつゝ

情なさけをかけて救すくふべし

受うる形かたちは其儘そのままに

心こころひとつと改あらためて

男おとこも女むすめも諸共もろともに

佛ほとけが佛ほとけを念あんずれば

諸佛しよぶつの淨土じやうとに通徹つうてつし

一時いちじに消きに失果うせはてぬれば

尋常佛よのつねほとけに近ちかづききて

香花燈燭採かうはなともしびとりさげ

身口意三業清淨しんくういさんごふしやうぐに

坐禪觀法修ざぜんくわんばふしうしぬれば

心こころが即すなはち佛ほとけなり

生々世々の父母しやうげせいのちちははや

其恩愛そのおんあいの深あかき事こと

然しかるに六趣ろくしゆに輪廻りんねんして

禮拜恭敬らいはいくぎやうを慇懃いんぎんに

粥飯茶菓等供しゆくはんさくわさうそぐへつゝ

稱名念佛經陀羅尼しやうみやうねんぶつぎやうだらに

淨土じやうどは元來もとより我身わがみにて

熟々衆生つらつくしやうじやうくわんを觀くわんずれば

六親眷屬ろくしんけん師長しちやうにて

各々現世おのしくげに異ことなりず

種々の苦患しゆぐくげんに浮沈うきしづむ

其有様を察するに

身の毛も寒豎ばかり也

皆々悲願を跂て、

無明の眠を覺して

行住坐臥に怠らず

一心勇猛に修行して

六衢の衆生を敗心念し

菩提の道に趣かせ

本有の衆徳を發露して

不報の恩を報ぜん

般若の船に棹さして

涅槃の岸に到るべし

圓通山龍澤寺開山
正宗國師白隱和尚 坐禪和讚



衆生本來佛なり

水と氷の如くにて

水を離れて氷なく

衆生の外に佛なし

衆生近きと知らずして

遠く求むるはかなきよ

譬へは水の中に居て

渴を叫ぶか如くなり

長者の家の子となりて

貧里に迷ふに異ならず

六趣輪廻の因縁は

己か愚痴の闇路なり

闇路に闇路を踏そへて

いつか生死を離るべき

夫れ摩訶衍の禪定は

稱歎するに餘あり

布施や持戒の諸波羅密

念佛懺悔修行等

そのしなれは 其品 多き 諸善行

一 座の功をなす人も

悪趣何處にありぬべき

辱なくも此の法を

讚歎隨喜する人は

況や自ら回向して

自性即ち無性にて

因果一如の門ひらけ

皆この中に歸するなり

積し無量の罪ほろぶ

浄土即ち遠からず

一たび耳にふる時

福を得ること限りなし

直に自性を證すれば

既に戲論を離れたり

無二無三の道直し

無相むさうの相さうを相さうとして

無念むねんの念ねんと念ねんとして

三昧さんまい無碍むがいの空そらひろく

此時このとき何をなにか求もとむべき

當所とうじよ即すなはち蓮華れんげ國こく

行ゆくも歸かへるも余所よそならず

謠うたも舞まも法ほうの聲こゑ

四智しち圓明えんめいの月つきさるん

寂滅じやくめつ現前げんぜんするゆへに

此身このみ即すなはち佛ほとけなり





願^ハ以^{ニテ}此功德^ヲ 普^ク及^{ニシ}於一切^ニ
我^レ等與^ニ衆生 皆^ニ共^ニ成^{センコトヲ}佛道^ヲ
十方三世一切諸佛諸尊菩薩摩訶薩摩訶
般若波羅蜜^ツ

妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五

爾時無盡意菩薩即從座起偏袒右肩合掌

向佛而作是言世尊觀世音菩薩以何因緣

名觀世音佛告無盡意菩薩善男子若有無

量百千萬億眾受諸苦惱聞是觀世音菩

薩一心稱名觀世音菩薩即時觀其音聲皆

得解脫



若有持是觀世音菩薩名者設入大火火不

能燒由是菩薩威神力故



若為大水所漂稱其名號即得淺處



若有百千萬億眾為求金銀瑠璃碑磔碼

磯珊瑚琥珀真珠等寶入於大海假使黑風

吹其船舫飄墮羅刹鬼國其中若有乃至一

人稱觀世音菩薩名者是諸人等皆得解脫

羅刹之難以是因緣名觀世音



若復有人臨當被害稱觀世音菩薩名者被

所執シヨシワトウ刀杖ゴキョウ尋段ジンダン段ダン壞クヱ而得ニトク解脫ゲダツ



若ニヤク三千サンゼン大千ダイセン國土コクド滿中マンチウ夜叉ヤシヤ又シヤ羅刹ラセツ欲來ヨクライ惱人ノウニン

聞モン其稱ゴシヨウク觀世オンボ音菩薩サツミヤウシヤ名者ゼ是諸シヨ惡鬼アクキ尚不能シヤウフノウ

以イ惡眼アクゲン視之シ况復キヤウブ加害カガイ



設セツ復ブ有人ウニン若有ニヤク罪若無ザイニヤクム罪ザイ杻械チウカイ枷鎖カサ檢繫ケンゲ其

身シン稱觀シヨウク世音オンボ菩薩サツミヤウシヤ名者カイ皆悉シツダン斷壞エソク即得トク解脫ゲダツ

若ニヤク三千サンゼン大千ダイセン國土コクド滿中マンチウ怨賊オンゾク有一イチ商主シヤウシユ將諸シヤウシヨ

商人シヤウニン齋持サイヂ重寶ヂウホウ經過キヤウクワ險路ケンロ其中チウ一人イチニン作是サゼ唱シヤウ

言諸善男子。勿得恐怖。汝等應當一心稱觀
世音菩薩名號。是菩薩能以無畏施於衆生。
汝等若稱名者。於此怨賊當得解脫。衆商人
聞俱發聲言。南無觀世音菩薩。稱其名故。卽
得解脫。無盡意觀世音菩薩摩訶薩。威神之
力。巍巍如是。



若有衆生。多於姪欲。常念恭敬觀世音菩薩。
便得離欲。若多瞋恚。常念恭敬觀世音菩薩。

優得離瞋ベン トクリ シン。ニヤク タグ チ若多愚癡ジヤウ ネン ク常念恭敬ゲウ クワン觀世音菩薩ゼ オン ボ サツ。
優得離癡ベン トクリ チ。ム無盡意ジン キ。クワン觀世音菩薩ゼ オン ボ サツ有如是等ニヨ ゼ トウ ダイ大
威神力キ ジン リキ。タ多所饒益ジヨ ネウ ヤク。ゼ是故コ衆生常應シユ ジヤウ シヤウ オウ シン ネン心念

若有女人ニヤク ウ ニヨ ニン。セツ設欲ヨク求男グ ナン。ライ禮拜ハイ供養ク ヤウ。クワン觀世音菩薩ゼ オン ボ サツ。

優生福德ベン シヤウ フク トク。チ智慧之男エ シ ナン。セツ設欲ヨク求女グ ニヨ優生ベン端正シヤウ タン有

相之女サウ シ ニヨ。シユ宿植タク德本トク ホン。シユ衆人ニン愛敬アイ ケウ。ム無盡意ジン キ。クワン觀世音

菩薩ボ サツ有如是力リキ。ニヤク若有衆生シユ恭敬ゲウ禮拜ライ觀世音

菩薩ボ サツ福不唐捐フ トウ エン



是故衆生皆應受持觀世音菩薩名號無盡
意若有人受持六十二億恒河沙菩薩名字
復盡形供養飲食衣服臥具醫藥於汝意云
何是善男子善女人功德多不無盡意言甚
多世尊佛言若復有人受持觀世音菩薩名
號乃至一時禮拜供養是二人福正等無異
於百千萬億劫不可窮盡無盡意受持觀世
音菩薩名號得如是無量無邊福德之利

無盡意菩薩白佛言。世尊。觀世音菩薩云何
遊此娑婆世界。云何而為衆生說法。方便之
力。其事云何。



佛告無盡意菩薩善男子。若有國土衆生應
以佛身得度者。觀世音菩薩即現佛身。而為
說法。應以辟支佛身得度者。即現辟支佛身。
而為說法。應以聲聞身得度者。即現聲聞身。
而為說法。應以梵王身得度者。即現梵王身。

而ニ爲セツ說法ポウ應オウ以イ帝タイ釋シヤク身シン得トク度ド者シヤ卽ソク現ゲン帝タイ釋シヤク身シン

而ニ爲セツ說法ポウ應オウ以イ自ジ在ザイ天テン身シン得トク度ド者シヤ卽ソク現ゲン自ジ在ザイ

天テン身シン而ニ爲セツ說法ポウ應オウ以イ大ダイ自ジ在ザイ天テン身シン得トク度ド者シヤ卽ソク

現ゲン大ダイ自ジ在ザイ天テン身シン而ニ爲セツ說法ポウ應オウ以イ天テン大ダイ將シャウ軍グン身シン

得トク度ド者シヤ卽ソク現ゲン天テン大ダイ將シャウ軍グン身シン而ニ爲セツ說法ポウ應オウ以イ毘ビ

沙シャ門モン身シン得トク度ド者シヤ卽ソク現ゲン毘ビ沙シャ門モン身シン而ニ爲セツ說法ポウ應オウ

以イ小セウ王ワウ身シン得トク度ド者シヤ卽ソク現ゲン小セウ王ワウ身シン而ニ爲セツ說法ポウ應オウ

以イ長チャウ者ジャ身シン得トク度ド者シヤ卽ソク現ゲン長チャウ者ジャ身シン而ニ爲セツ說法ポウ應オウ

以居士身得度者。即現居士身。而爲說法。應
以宰官身得度者。即現宰官身。而爲說法。應
以婆羅門身得度者。即現婆羅門身。而爲說
法。應以比丘比丘尼優婆塞優婆夷身得度
者。即現比丘比丘尼優婆塞優婆夷身。而爲
說法。應以長者居士宰官婆羅門婦女身得
度者。即現婦女身。而爲說法。應以童男童女
身得度者。即現童男童女身。而爲說法。應以

天龍夜叉乾闥婆阿修羅迦樓羅緊那羅摩
睺羅伽人非人等身得度者卽皆現之而爲
設法應以執金剛神得度者卽現執金剛神
而爲說法無盡意是觀世音菩薩成就如是
功德以種種形遊諸國土度脫衆生是故汝
等應當一心供養觀世音菩薩是觀世音菩
薩摩訶薩於怖畏急難之中能施無畏是故
此娑婆世界皆號之爲施無畏者無盡意菩

薩サツ白ビヤク佛ブツ言ゴン。世セ尊ソン我ガ今コン當タウ供ク養ヤウ觀クワン世ゼ音オン菩ボ薩サツ卽ソク
解ゲ頸キヤウ衆シユ寶ホウ珠シユ瓔ヤウ珞ラク價ゲ直ヂキ百ヒヤク千セン兩リヤウ金ゴン而ニ以イ與ヨ之シ。
作サ是ゼ言ゴン。仁ニン者ジャ受ジュ此シ法ハウ施セ珍チン寶ボウ瓔ヤウ珞ラク時ジ觀クワン世ゼ音オン
菩ボ薩サツ不フ肯コウ受ジュ之シ無ム盡ジン意キ復フ白ビヤク觀クワン世ゼ音オン菩ボ薩サツ言ゴン。
仁ニン者ジャ愍ミン我ガ等トウ故コ受ジュ此シ瓔ヤウ珞ラク爾ニ時ジ佛ブツ告ゴウ觀クワン世ゼ音オン
菩ボ薩サツ當タウ愍ミン此シ無ム盡ジン意キ菩ボ薩サツ及ギ四シ衆シユ天テン龍リウ夜ヤ叉シャ。
乾ケン闥ダツ婆バ阿ア修シユ羅ラ迦カ樓ル羅ラ緊キン那ナ羅ラ摩マ睺ゴ羅ラ伽ガ人ニン
非ヒ人ニン等トウ故コ受ジュ是ゼ瓔ヤウ珞ラク卽ソク時ジ觀クワン世ゼ音オン菩ボ薩サツ愍ミン諸シヨ

四衆シシユ及於ギフオ天龍テンリウ人ニン非人ヒニン等トウ受其瓔珞シユゴヤウ分作二ブンサニ
分ブン一分奉釋迦牟尼佛イチブンシヤカムニブツ一分奉多寶佛塔イチブンタホウブツ無
盡意ジンキクワン觀世音菩薩オンボサツウ有如是自在神力遊於娑婆世界ウニヨゼジザイジンリキユウオシヤ



爾時無盡意菩薩以偈問曰ニジムジンキボサツイゲモンワツ
世尊妙相具我今重問彼佛子何因緣セソンノウソウグガコンヂウモンヒブツシシガインエン名爲觀世音ミヤウキクワンゼオン
具足妙相尊偈答無盡意汝聽觀音行善應諸方所グソクノウソウソングゲタウムジンキニヨテウクオンギヤウゼンオウシヨハウシヨ
弘誓深如海歷劫不思議侍多千億佛發大清淨願グゼイジンニョカイリヤクコウフシシギシタセンオクブツホツダイシヤウグダシ



我ガ爲キ汝ニ略ヨリ說セツ聞モン名ミヤウ及ギ見フ身ケン心シン念ネン不フ空クウ過クワ能ノウ滅メツ諸シヨ有ウ苦ク

假ケ使シ興コウ害ガイ意キ推スイ落ラク大ダイ火カ坑キヤウ念ネン彼ビ觀ケン音オン力リキ火カ坑キヤウ變ヘン成シヤウ池チ

或ワク漂ヘウ流ウル巨コ海カイ龍リウ魚ゴ諸シヨ鬼キ難ナン念ネン彼ビ觀ケン音オン力リキ波ハ浪ラウ不フ能ノウ沒モツ

或ワク在ザイ須シユ彌ミ峯ブ爲キ人ニン所シヨ推スイ墮ダ念ネン彼ビ觀ケン音オン力リキ如ニヨ日ニチ虛ク空ウ住ヂウ

或ワク被ヒ惡アク人ニン逐チク墮ダ落ラク金コン剛ガウ山セン念ネン彼ビ觀ケン音オン力リキ不フ能ノウ損ソン一イチ毛モウ

或ワク值チ怨オン賊ゾク遶ネウ各カク執シウ刀トウ加カ害ガイ念ネン彼ビ觀ケン音オン力リキ咸ゲン卽ソク起キ慈ジ心シン

或ワク遭サウ王ワウ難ナン苦ク臨リン刑ギヤウ欲ヨク壽シユ終シウ念ネン彼ビ觀ケン音オン力リキ刀トウ尋ジン段ダン段ダン壞クヱ

或ワク囚シユ禁キン枷カ鎖サ手シユ足ソク被ヒ扭チウ械カイ念ネン彼ビ觀ケン音オン力リキ釋シヤク然ネン得トク解ゲ脫ダツ

咒詛諸毒藥シユソシヨドクヤク所欲害身者シヨヨクガイシシツヤ念彼觀音力ネンビクオンリキ還着於本人ゲンダヤクオホンニシ

或遇惡羅刹ワクグアキラセツ毒龍諸鬼等ドクリウシヨキトウ念彼觀音力ネンビクオンリキ時恐不敢害ジシツプカシガイ

若惡獸圍繞ニヤクアタジユキネウ利牙爪可怖リゲサウカフ念彼觀音力ネンビクオンリキ疾走無邊方シツソウムヘシハウ

蚊蛇及蝮燂ガクシヤギフクカツ氣毒煙火然ケドクエンクワネン念彼觀音力ネンビクオンリキ尋聲自回去ジンシヤウジエコ

雲雷鼓掣電ウンライクセイデン降雹澍大雨ガウバクジュダイウ念彼觀音力ネンビクオンリキ應時得消散オウジトクセウサン

衆生被困厄シユシヤウヒコンヤク無量苦逼身ムリヤウクヒツシン觀音妙智力クオンオシチリキ能救世間苦ノウクセケンク

具足神通力グソクジンツウリキ廣修智方便クワウシユチハウベン十方諸國土ジツハウシヨコクド無刹不現身ムセツフゲンシン

種種諸惡趣シユトクシヨアタシユ地獄鬼畜生ヂゴクキチクシヤウ生老病死苦シヤウラウビヤウシク以漸悉令滅イゼンシツレフメツ

眞觀清淨觀廣大智慧觀悲觀及慈觀常願常瞻仰

無垢清淨光慧日破諸闇能伏災風火普明照世間

悲體戒雷震慈意妙大雲澍甘露法雨滅除煩惱

諍訟經官處怖畏軍陣中念彼觀音力眾怨悉退散

妙音觀世音梵音海潮音勝彼世間音是故須常念

念念勿生疑觀世音淨聖於苦惱死厄能為作依怙

具一切功德慈眼視眾生福聚海無量是故應頂禮

爾時持地菩薩即從座起前白佛言世尊若

有ウシユ衆ジヤウ生モン間ゼ是クン觀ゼ世オン音ボ菩サツ薩ボン品シ自ザイ在シ之ゴ業フ普フ門モン
示ジ現ゲン神ジン通ツウ力リ者キ當ヤ知タウ是チ人ゼ功ニン德ク不ド少ク佛フ說セツ是ゼ
普フ門モン品ボン時ジ衆シユ中ガウ八ハチ萬マン四シ千セン衆シユ生ジヤウ皆カイ發ホツ無ム等トウ等ドク
阿ア耨ノク多ダ羅ラ三サン藐ミヤク三サン菩ボ提ダイ心シン

觀クワン音イン和ワ讚ザン



歸キ命メイ頂テイ禮レイ觀クワン世セ音イン昔シヤクハ勝ショウ宝ホウ妙ミョウ如ニ來ヨ
未ミ來ライハ光クワウ明メイ功ク德トク佛ブツ十ジウ大ダイ願ガン比ヒ海カイふフのノくク
今イマ此コノ娑シャ婆バに示シ現ゲンとト生イケとト生イケるル者モノのノたタめメ

大慈大悲の手と垂て

種々み濟度と成まます

譬ぞ萬乃みぞ澄て

一乃月はうつるごとく

かんおふれいん新あり

聞に法華の普門品

三十三に身とまげて

十九の説法何くごとく

七難三毒みお滅し

二求兩願も成就せり

若人現世ハ安穩に

後生も善處と思ひま

常々菩薩を念むべし

念彼觀音の其ちうら

如何ふる障を除去

無量に福德あつまりて

春はる比あし晨しよに鳴なやうくりえ

秋あき乃ゆづ夕ゆの虫むし比ね音ねも

畢ひつ竟きやう梵ぶつ音おん海かい潮しやう音おん

聞い聲しやう悟ご道どうの法ほうのころる

實げやに何なにをもごとと愚おろあり

扱さ又また行ぎやう者じやの臨りん終しやうハ

蓮はちすの臺うたがをととげ来きて

隨ずい願がん往わう生じやうとげ志しめり

是これ此こゝばをを信しんぜずバ

渡わたふ船ふねをいひあん

然しかれどもぬらたもいやしきも

童どう男なん童どう女にょにいるやぞ

念ねん々々疑ぎおくろろあらむ

誠まことに頂てうらいひまたげべし

南な無む大だい悲ひ觀くわん世ぜ音おん

唵おん阿あ盧ろ利り伽が娑さ婆ば訶か

大正二年二月三日印刷
同 年二月七日發行

發行兼印刷者 保延堂 山田常藏
京都市室町通三條南へ入

256
341

終